

# 汗をかいたときの「不快感」数値化しませんか？ —肌離れに関する試験のご紹介！—

夏、汗をかいたときの「シャツが肌にはりつく…」 「動くたびにまとわりついて不快だなあ」 「汗でべとつく…」 などといった不快感。着心地の評価はモニター試験だけ？  
いえ！そんなことはありません。生地肌離れ性を客観的に数値化できる試験のご紹介です。  
本試験はボーケンガーメンテック株式会社にて実施します。

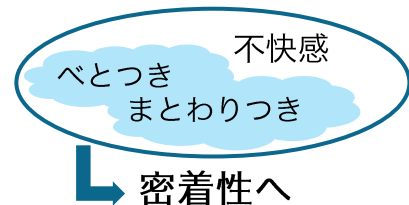
ボーケンでも試験受付可能！



## ● 肌離れ性試験項目

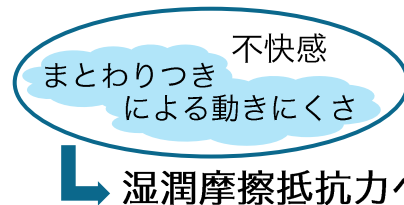
### CASE1

動きは少なく、汗をかいた時



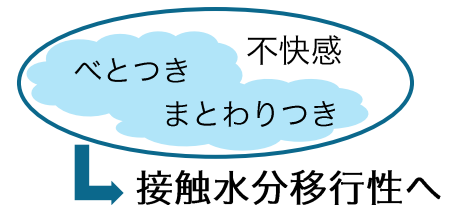
### CASE2

動きが多く、汗をかいた時



### CASE3

汗をかいて衣服が濡れた時



どの試験を選べばいいの？

CASE や改善したい不快感など  
目的に合わせて試験選択するといいケン



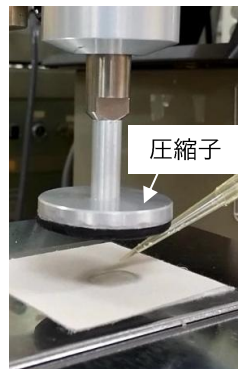
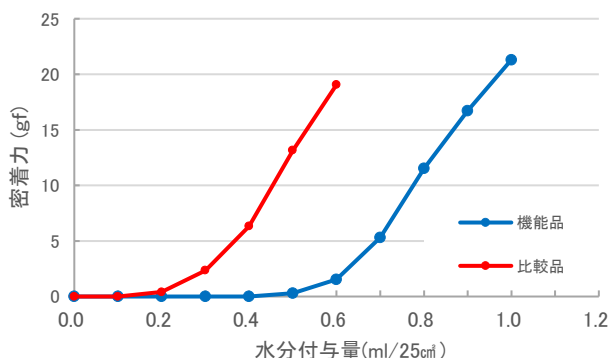
## ● CASE1 密着性

じんわりと汗で濡れた生地を想定した試験。

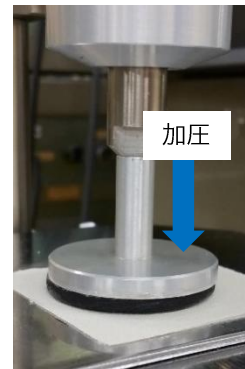
|       |                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------|
| 試料    | 5cm×5cm 3枚<br>比較例：未加工品・加工品                                 |
| 試験方法  | KES圧縮試験機を使用し、<br>「①試料に0.1ml滴下 → ②加圧 → ③除圧」を密着力が計測できるまで繰り返す |
| 試験結果  | 密着力 (gf)                                                   |
| 評価の目安 | 密着力 (gf) が低い方が<br>べとつきにくい、肌離れが良い                           |

※比較試験推奨

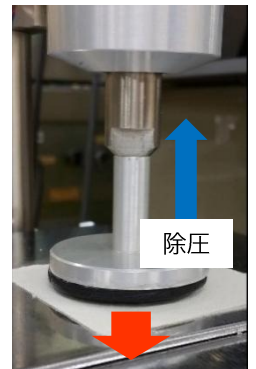
密着性試験結果例



①試料に0.1ml滴下

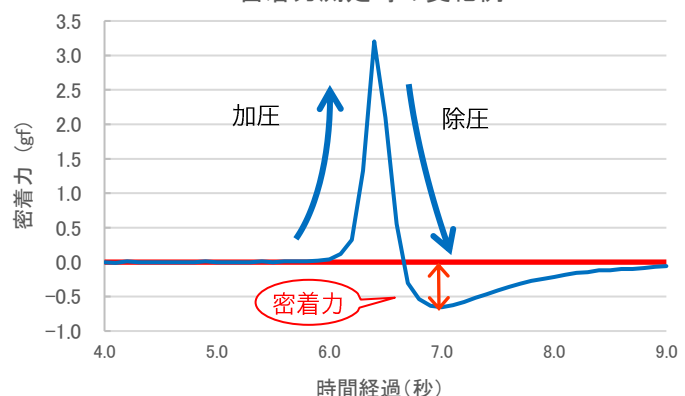


②圧縮子にて加圧中



③濡れた生地が  
圧縮子(肌想定)を  
ひっぱる＝密着力

密着力測定時の変化例



どれくらいなら密着力が  
小さいと言えるの？

水分吸収が試料によって違うからのう。  
具体的な数値の目安はないんじゃ。同一水分量で密着力を比較  
することをおすすめしとるぞ！

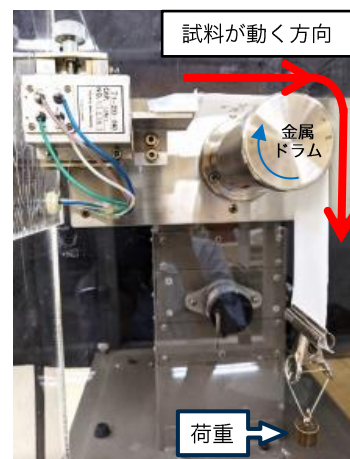


## ●CASE2 湿潤摩擦抵抗力

汗で濡れた生地が肌にまとわりつく、べとつくことを想定した試験。

|       |                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------|
| 試料    | 5cm×30cm タテヨコ各2枚<br>比較例：未加工品・加工品                                 |
| 試験条件  | それぞれ乾燥状態、湿潤状態で測定                                                 |
| 試験方法  | 片端に30gの錘をつけた試料を<br>腕・足・背中を想定した金属ドラムに沿わせ、<br>ドラムを回転させたときの摩擦抵抗力を測定 |
| 試験結果  | 乾燥時と湿潤時の差 (gf)                                                   |
| 評価の目安 | 乾燥時と湿潤時の差 (gf) が小さい方がべとつきにくい                                     |

※比較試験推奨



|            | ドライ感素材 | 綿100%  |
|------------|--------|--------|
| 乾燥時        | 42.2gf | 46.2gf |
| 湿潤時        | 42.6gf | 56.8gf |
| 結果 { 乾と湿の差 | 0.4gf  | 10.6gf |

生地のはたて方向、よこ方向  
どちらも試験可能じゃ！

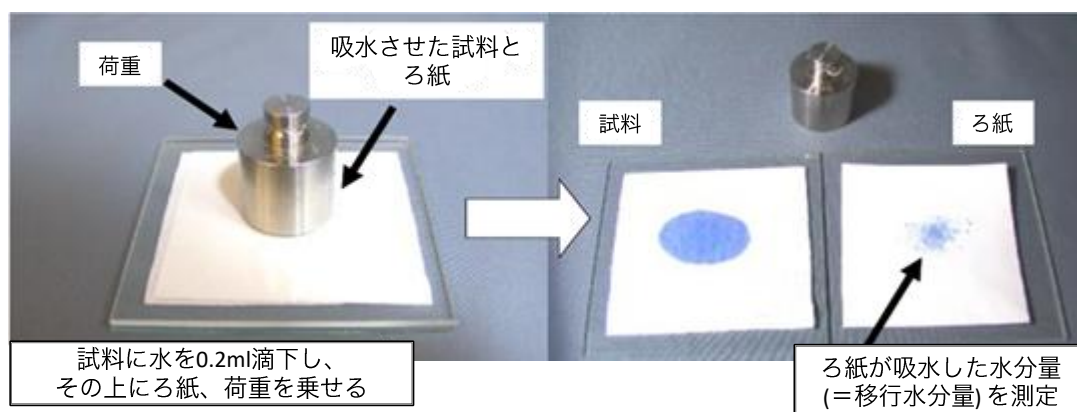


## ●CASE3 接触水分移行性

生地が吸った汗を肌へ戻してしまう現象（濡れ戻り）を想定した試験。

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 試料    | 5cm×5cm 3枚<br>比較例：未加工品・加工品            |
| 試験方法  | 試料に水を0.2ml滴下し、ろ紙と荷重を載せ、ろ紙に移った水分量を測定   |
| 試験結果  | 水分移行率 (%) = ろ紙が吸水した水分量 / 滴下量0.2ml×100 |
| 評価の目安 | 水分移行率 (%) が少ない方が、汗が生地から肌へ濡れ戻りにくい      |

※比較試験推奨



水分移行率20%以下程度であれば、湿潤時のべとつきが少ない試験例が多いケン

汗以外でも失禁・吸水ショーツ用途でも試験例があるわよ



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

一般財団法人ボーケン品質評価機構

東京機能性試験センター  
TEL：03-5669-1415

大阪機能性試験センター  
TEL：06-6577-0157

HPは  
こちら



<https://www.boken.or.jp/>

ボーケンガーメンテック株式会社

東京テレコム試験センター  
TEL：03-6426-0720

大阪貝塚試験センター  
TEL：072-437-0055

HPは  
こちら



<https://www.boken-gt.com/>

一般財団法人ボーケン品質評価機構 <https://www.boken.or.jp/>